

情報セキュリティ基本方針

1. 目的

トヨタ自動車株式会社（以下、「トヨタ自動車」という）は、トヨタ自動車及びその連結子会社（以下、トヨタ自動車及びその連結子会社を合わせて「トヨタ」という）が「トヨタ基本理念」及び「トヨタ行動指針」に基づき、お客様や取引先からお預かりした、又はトヨタが保有する企業秘密・個人情報などの情報、当該情報を管理・保護するためのシステム、及びトヨタの設備・商品の制御に関するシステム等（以下、「情報資産」という）はトヨタの事業活動において重要な資産であるとの認識に立ち、組織的かつ継続的に情報セキュリティに取り組むことを目的として、情報セキュリティ基本方針（以下、「本方針」という）を定める。

2. トヨタの基本的な姿勢

1) 法令遵守

トヨタは、情報セキュリティに係る法令、国が定める指針、契約上の義務、及びその他の社会的規範を遵守する。

2) 安定した経営基盤の維持

トヨタは、情報資産を適切に管理・保護することにより、競争力及び事業継続性の確保など安定した経営基盤の維持に努める。

3) 安全な商品・サービスの提供

トヨタは、商品・サービスの開発・設計・製造等、自社の事業活動において、情報セキュリティの対策を講じることにより、お客様や社会に対し、安全な商品・サービスを提供する。

4) 安全なサイバー空間づくりへの貢献

トヨタは、情報システムや情報通信ネットワークなどにより構成され、情報が流通するインターネットやその他の仮想的な空間（以下、「サイバー空間」という）の利用者が安心してその恩恵を享受できるよう、安全なサイバー空間づくりに貢献する。

5) 情報セキュリティマネジメント

トヨタは、ガバナンス体制の構築とともに、事故対応を含めたリスクマネジメントを行ない、情報セキュリティの継続的な推進及び改善を行なう。